

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	桜環境センター余熱体験施設
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市桜区新開4丁目2番1号</p> <p>②施設の設置目的 桜環境センターで廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーの有効な利用状況を体験でき、市民の健康の維持及び推進を図る。</p> <p>③施設の概要 大浴場、岩盤浴、ウォーキングプール、トレーニングルーム、娯楽室、レストラン</p>
(3)指定管理者	株式会社エコパークさいたま
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成27年4月1日～令和12年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和3年度 226,108千円、令和4年度 226,108千円、令和5年度233,635千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 269,217人(前年度209,636人)</li> <li>・稼働率__%(前年度__%)</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大浴場 : 休館日、臨時休館期間を除き営業</li> <li>・岩盤浴 : 大浴場営業日に入場制限をせず営業</li> <li>・ウォーキングプール : 休館日、臨時休館期間を除き営業</li> <li>・トレーニングルーム : 休館日、臨時休館期間を除き時間制限(2時間)及び人数制限(15名)のうえ営業</li> <li>・スタジオ : 休館日、臨時休館期間を除き営業</li> <li>・娯楽室 : 休館日、臨時休館期間を除き営業</li> <li>・レストラン : 休館日、臨時休館期間を除き営業 (11:00～15:00、17:00～20:00)</li> </ul> <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱体験施設の運営及び清掃</li> </ul>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料 233,635千円 (前年度226,108千円)</li> </ul> <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 121,425千円 (前年度 110,457千円)</li> <li>・事務費 13,900千円 (前年度 11,739千円)</li> <li>・施設管理費 35,181千円 (前年度 22,190千円)</li> <li>・事業費 27,169千円 (前年度 25,194千円)</li> <li>・光熱水費 60,400千円 (前年度 52,022千円)</li> </ul>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	アンケート集計を月次報告書に添付し、対応について報告しています。また、アンケートのご意見に対する回答を館内に毎月掲示しています。
(8)その他	

## 2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
レストランメニュー	3ヶ月ごとに季節限定メニューを考案し、利用者様が飽きることのないよう、季節感を出せるよう工夫しました。
スタジオプログラム	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していた制限を撤廃し、開講しました。その結果、令和5年度は1,113回開講し、延べ5,750名の方々にご参加いただきました。
岩盤浴	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していた制限を撤廃し、営業しました。その結果、4,937枠・延べ2,628名の方々にご利用いただきました。

## 3 評価

### (1) 指定管理者による評価

令和5年度の入館者数は、前年度に比べ128%と増加し、269,217名の方にご利用いただきました。1日の平均ご利用者様数は、前年度約765名から本年度は906名様と増加しており、多い日には1,200名様を超えるご来館をいただきました。昨年までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スタジオプログラムやトレーニングルームの利用者人数制限などの対応をしてまいりましたが、本年度はほぼ制限を撤廃し、多くの方々にご利用をいただくことができました。また、前年度より変更のあった利用方法(時間短縮撤廃等)の告知に努め、利用者される方々が混乱することのないよう、館内放送による呼びかけや館内掲示物、職員の巡回などを行いました。レストランでは令和4年度の終わりから担当シェフが替わり、料理の味が良くなったとお褒めの言葉を多くいただけるようになりました。スタッフ教育としては、避難訓練と消防訓練を実施し、利用者様の避難・誘導を中心に通報・避難の手順、関係者間の連携を確認し、万一の場合に備えました。

### (2) さいたま市の評価(評価担当課:環境局施設部環境施設管理課)

総合評価 **(B)** ※A~D

- ・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上、季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に位置づけが移行された際には、円滑かつ速やかに施設の利用制限等をなくし、通常の営業体制に移行できていた。
- ・なお、利用制限等撤廃の際には、施設利用者に対して十分な周知が図られており、大きな混乱は生じなかった。
- ・レストランの運営にあたっては、担当シェフの交代や新たなメニューの追加等の品質向上に向けた工夫が図られており、利用者から好評を得ている。
- ・利用者の安全確保のため、災害等が発生した際に適切に対応するため、応急手当研修や避難訓練を実施し、安全管理体制の強化が図られている。
- ・施設の維持管理について、適宜、設備メンテナンス、定期的な館内清掃を実施できている。

以上のことから、市民への利用促進、適正な維持管理における成果があったと評価できる。

### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者が継続的に増加していることから、施設利用者が安心・安全に施設を利用することができるよう、更なる管理運営体制の見直しを行うこと。
- ・施設利用者の9割以上が60歳以上の高齢者であり、のぼせ等による救急車要請が複数回発生しているため、浴場内や更衣室の巡回頻度を増やし、施設利用者の健康管理に留意すること。